



福島市働く女性応援認証企業 ファイル (Vol. 6)

本市では、男女共に働きやすい職場環境づくりなどを積極的に行う中小企業を認証しています。

このコーナーでは、認証企業にスポットをあて、その取り組みをご紹介します。



▲番組の編集作業をする今井さん

ラジオ福島では、さまざまな話題や生活情報をAMラジオに乗せて発信しています。多くの皆さまに支えられ、来年、開局70周年を迎えます。最近はやいFMによる放送のほか「radioiko」、インターネット、SNSなどでも情報発信しています。女性が働きやすい環境づくりとして、家庭の都合などに合わせ時間単位の有給休暇取得を可能にしたり、健康状態の維持確認を目的に人間ドック、生活習慣病予防検診の受診を推奨しています。

未来に向けて多様な発想ができるラジオ局を目指して



株式会社ラジオ福島



【会社概要】

所在地：福島市下荒子

代表者：代表取締役社長
花見政行

設立：昭和28年9月

資本金：1億円

社員数：50人

採用実績：令和3年度2人
(うち女性2人)

主要事業：AMラジオ放送

連絡先：☎535-3333

問／産業雇用政策課
☎515-7746

クローズアップ

女性社員に聞きました！

🐰 我が社のここが働きやすい！

生放送や録音構成番組など「番組づくり」では、さまざまなアイデアが多く求められます。

私たちディレクター陣をはじめ、各セクションが「プロのラジオマン」として男女・年齢関係なく「面白いもの」「求められているもの」について、日々本音で話し合い、追求できる環境が整っています。

🐰 悩みも気軽に相談できる！

真剣に話を聞いてくれるメンバーが多いので、悩みも気軽に相談でき常に「新しい気持ち」で働くことができます。



入社11年目
編成制作部
今井江里子さん

ウィズコロナによる活動が回復する中で、市外との交流も活発化してきました。

古閑裕而さんの妻金子さんの出身地・豊橋市とは、朝ドラ・エールを機に交流を深め、今夏のふくしま花火大会では豊橋伝統の手筒花火を披露いただきました。息をのむすばらしい花火でしたね。

10月には、「福島わらじまつり」に参加し、その雄姿を披露。持ち込んだ「くだもの宝石箱」のフルーツは早々に完売して、そのおいしさを味わっていただきました。

豊橋市は、愛知県東三河地方の中心都市で人口約37万。産業が発展し、まちづくりを積極的に進める一方、市町村別農業生産額日本一を長らく続けたまちです。東京からは新幹線で1時間20分。福島商工会議所青年部主催の「ユー・ジックフェス」に豊橋商工会議所青年部の方々が参加し、豊橋名物ちくわのおでんを提供していました。豊橋市との交流は大変有意義であり、今後さらに交流を深め、固い絆にしていきたいと思えます。

一方、友好都市・荒川区との交流も進展しています。これまで

We Love ふくしま!

第54回
「都市間の交流」

福島市長 木幡 浩

でもモモの販売で強力な応援をいただいていたことが、今年はりんごのひょう害果に拡大しました。

また、12年連続で水質日本一の荒川の水を活用した米作り・酒造りは、コロナ禍で見送っていた人的交流が始まり、荒川区の皆さんは初めての稲刈りに歓声を上げていました。

11月には、市内荒川のほとりで「あらかわの森」づくりがスタートしました。ゼロカーボンを目指す荒川区には、森林整備をする場所がなく、福島市で森をつくり、二酸化炭素吸収の貢献を行おうとするもの。域外の自治体による森林整備は県内では初めてではないでしょうか。参加した荒川区の親子は、市内からの参加者と交流しながら、森に親しみ、森林の地球温暖化防止の役割を学習していました。

都市間の交流は、表敬訪問の交換に止まらず、市民や経済の交流にいくことが大事です。お互いの特徴を生かし、補い協力し合って、困ったときには助け合える関係にしていきたいと思えます。

